

令和2年度 事業実施計画書（モデル的事业）

団体名：空町まちづくり協議会

1. モデル的事业名	まちづくり協議会運営活性化事業
2. 事業名	空町まち協運営活性化事業
3. 目的	<p>人口減少や高齢化によって町内会の維持や役員の選出が難しい。またまち協役員は1年交代のため新役員は予備知識や情報が無い中、年度当初に新年度の事業計画等を計画立案しなければならない。そのため、前年度事業を踏襲する事が通例となり、新規事業の提案、既存事業の改善、組織改革等を行うことは非常に困難となっている。</p> <p>本事業では、平成30年度の設置した「企画・支援チーム」により、組織体制や事業の見直しを図り、役員の専従化についても検討する。</p>
4. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「企画・支援チーム」が、各事業及び各会議（常任委員会など）に出席し、引き続き、各委員会やまち協本部に対して、新規事業の提案、3大行事などの既存事業についての課題の提起や改革などの具体的な提言を行う。 ・昨年度提起した3つのテーマに対して、確実に事業が進捗するよう助言する。 <p><H31 提言…次年度まち協で改革に着手すべきテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域事業の人材を活かした(講座・サークル・イベント)に対する支援方法 ②地域の交流の場である「サロン」の開設に向け、空き家対策も考慮に入れた候補地の選定 ③地域の人に地元をもっとしてもらうため「空町まち歩きマップ」の制作・発行 <p>【本年度取り組むメインテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員、組織のスリム化、役員の専従化などの組織改革に着手し、年度内に素案をまとめて役員会に提起する。
5. 効果見込	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度着手する3つの具体的な提言に対して、各委員会での活発な議論を促すとともに、地域の人たちがまち協の事業に対する関心が高まることを期待する。 ・地域人材を活かした事業等の活性化や地域課題に対応するための事業提案により、地域コミュニティの広がりや活性化が期待できる。 ・喫緊の課題として最も要望の多い、まち協や町内会のこれからの時代に対応した組織のスリム化や改革に向けた提言を発信することで、地域の関心も高まり議論も活発化する。

令和2年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
4月～8月	新規事業の提案と実施にむけての助言	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を活かすための支援事業、空き家対策を考慮したサロンの開設に関する助言 ・空町まち歩きマップの作製への助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会との意見交換、提言 ・実現に向けた工程の策定
6月～3月	組織改革	<ul style="list-style-type: none"> ・役員、組織のスリム化や組織改革を実現するために、具体的な内容を検討し提示する 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議、事業への出席 ・役員との意見交換会実施 ・役員、各委員会での助言
11月	視察研修実施	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修を行い、空町まち協への提言に生かす 	
4月～12月	既存事業見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業、会議への出席を通して助言、提案を行う (3大行事のあり方や、各委員会事業の改革について提言) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議、事業への出席 ・役員、各委員会での助言

令和2年度 空町まちづくり協議会 収支予算書（モデル的事業）
空町まち協運営活性化事業

【収 入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	400,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
合 計	400,000	

【支 出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
運営費	400,000	400,000	
人件費	180,000	180,000	委員報酬
旅費	200,000	200,000	視察研修旅費
需用費	20,000	20,000	消耗品費
合 計	400,000	400,000	